

出雲崎町紹介

リーフレット



総合的な学習の時間に、地域の方へのインタビューにもとづいて作成したリーフレットです。

目次

- 1 石井神社・出雲崎大祭
- 2 北前船と船まつり
- 3 出雲崎の偉人『良寛』 ～歩みし道をたどる～
- 4 国内唯一の紙風船製造『磯野紙風船製造所』
- 5 紙風船のデザイン
- 6 住民の安全を守る消防士
- 7 出雲崎の地域おこし協力隊
- 8 板東さん（地域おこし協力隊）
- 9 石坂さん（地域おこし協力隊）



生涯学習マスコット
マナボーいずもくん



位置		広ぼう		周囲	海岸線	面積	人口
東経	北緯	東西	南北				
138° 43'	37° 32'	9.3km	10.1km	37.7 km	8.9 km	44.38 平方 km	4,315 人(R2)

令和2年度
出雲崎町立出雲崎中学校 2年生成成

出雲崎大祭と石井神社

調べようとしたきっかけは、14年間暮らして来たこの町の歴史と伝統について気になったからです。

出雲崎大祭

まず、出雲崎大祭とは毎年6月17日に行われる出雲崎の恒例行事です。出雲崎大祭は、イワシ漁が始まる前に多くのイワシがとれることを願ったことが始まりです。出雲崎の海岸にある6つの神社の中にあるおみこしが運ばれています。

おみこしは、地元の小・中学校の生徒と祭りを運営する大人・その他の保護者が担ぐことで成り立っています。町内を担がれ回ったおみこしは、もともとあったそれぞれの神社に戻されます。そして、子供たちは、その町内の方から1日おみこしを頑張っ担いだとし、お金をいただきます。おみこしを担ぎ終わった後は、石井町～羽黒町内に並ぶ約50店舗の露店を回って、いただいたお金を使い、楽しく一日を終えます。子どもたちは、来年を楽しみにして一年間頑張ります。



石井神社

石井神社とは出雲崎の海岸の石井町にある神社で大国主命を祀っています。もともとは井鼻にありましたが、人が増えてきたことで和銅4年に現在の石井町に移りました。移されてからは、橘屋山本家が神事を司ってきました。かつての石井神社の階段は真っすぐでしたが、越後線開通の影響で曲がった階段になったそうです。毎年6月17・18日の両日に行われる石井神社の大祭は、橘屋が元禄3年に社領米をもとに始め、現在まで約300年続いています。神輿渡御や100軒近くの露店で、今なおにぎわいを見せています。



出雲崎と出雲は同じ神！？

出雲崎町石井神社と島根県の出雲大社は、同じ神を祀っています。その名は、大国主命(オオクニヌシノミコト)です。大国主命は、地上世界にいる神々の総元締です。因幡の白兔の話で有名ですね。

なぜ、出雲崎で祀っているかという昔出雲に住んでいた人たちが佐渡へ行くために出雲崎町に住み始めたことが始まりでした。出雲から来た人たちは、出雲でも出雲と同じように大国主命を祀りました。



出雲崎の歴史

1899年(明治22年)4月1日町村制施行に伴い、三島郡出雲崎住吉町、石井町、羽黒町、鳴滝町、木折町、井鼻村が合併し出雲崎町が発足しました。

北前船と船まつり



北前船

この出雲崎町に代々伝わる北前船と船まつり。
いつから始まったのか。どのようにして栄えたのか。
このように班員全員が疑問を持ち、インターネットや本
を利用して調べました。それでも分からない…
そこで公民館の図書館で地域コーディネーターの磯
部さんにインタビューをし、北前船と船まつりについて
さらに詳しいお話を聞きました。

【北前船の歴史】

北前船は、北海道から瀬戸内まで荷物を運び、江戸時代から明治時代まで栄えていました。当時は、北国船(ほっこくせん)や、弁財船(べんざいせん)などと呼ばれていました。

江戸時代当初は入港できた港がかなり少なかったため、特産品を届けられる場所が限られていました。明治時代になり、どこの港でも交易できるようになったため、その頃から北前船は本格的に栄え始めました。しかし、徐々に北前船の利益が少なくなり、明治30年ごろから少しずつ姿を消していきました。

【北前船と当時の状況】

北前船は、江戸時代後期から明治時代にかけて、主に瀬戸内から北海道まで日本海を通り、特産品や地方の文化を伝え栄えました。なかでも北海道から大阪に昆布・ニシン・鮭・米などを運ぶのが主流でした。当時の大阪に各地方の船から特産品が運ばれ**天下の台所**とまで呼ばれ栄えた背景には、北前船の存在があったのです。

北前船の交易は瀬戸内から北海道まで一往復で千両（現在だと約六千万円）ほど儲かり、危険はあるものの、夢もある職業でした。また、北前船の船員は港町で休憩をするので、当時は宿も利益を得られました。結果、当時の北前船は**経済的**にも**文化的**にも、とても価値あるものとなりました。

船まつり

【船祭りはいつ始まったのか】

町民のあいだで海の神様をまつる行事が8月15日に行われています。もとは、船乗りの人達が安全や大漁を願い、一つの船を貸し切って代表10名が乗り沖合に出て行われていた行事です。その様子を見た役場の方が一般の人たちにも参加してもらおうと思い立ち、昭和30年に第一回船祭りをを行い、現在に至ります。

【船まつりで使われた船】

昔、船まつりで使われていた船を造る造船所は3軒ありました。しかし、現在は1軒残るのみです。現在の船は強化プラスチックで造られていて、かつてのような木造船は造られていません。
ちなみに、使われなくなった船は、石をつめて海に沈められ処分されました。

出雲崎の偉人

良寛さん ～歩みし道をたどる～

RYOUKAN'S PROFILE



名前：釈良寛
(本名：山本栄蔵)
生没年：1758～1831
出身地：越後国
(今の新潟県三島郡出雲崎町)
好きなもの：ザクロ
三浦屋の都ようかん

苦手なもの：詩人の詩、書家の書、料理人の作る料理
職業：僧侶、歌人、書家
誕生日：11月2日
得意なこと：手まりをつくこと、習字を書くこと、句を詠むこと
好きなこと：読書、子供と遊ぶこと
(特に手まりをつくこと、かくれんぼ)
苦手なこと：嘘をつくこと
有名な書：天上大風、いろは、一二三
住んでいた場所：五合庵
性格：内気で優しい、神経質

EPIISODE

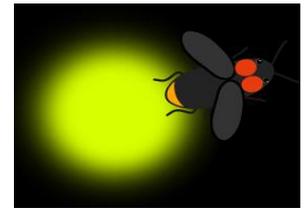
良寛さんのあだ名

良寛さんはかなりのお酒好きで五合庵の下にある阿部さんの造り酒屋でよく一緒に呑んでいた。阿部さんと呑んだ時の句もある。

近所の人からは良寛さんはよく夜に呑みに来るので「ほたる」というあだ名がつけられていた。

三浦屋 遠藤幸助さん

良寛さんは三条市にある「三浦屋」の都ようかんがすきだった。二人はとても仲がよく、和歌の会を開いたり一緒に呑んだりしていた。良寛さんの葬式当日には間に合わなかったが良寛さんの顔を一目見たいと泣きながら葬儀委員長の【貞心尼】に頼んだと言われている。遠藤さんは棺桶に入った良寛さんを見て神様のように思ったそうだ。



RYOUKAN KINENKAN

良寛記念館は、虎岸ヶ丘に建っています。設計は、谷口吉朗氏によるものです。江戸時代を代表する良寛さんの作品を伝えるため、生誕200年の記念事業として昭和40年に開館されました。谷口氏は、良寛さんの心の広さを表現すべく、夕日の丘公園の近くにある、景色の良い広大な場所に建てたとされています。良寛記念館には、良寛さんの人柄がにじみ出る作品がたくさんあります。例えば、下のように良寛さんは、老若男女問わず広い心で人々に接していた絵などです。

是非1度足を運んでみてはいかがでしょうか。



HAIKU

春雨や友を訪ぬる想ひあり

通釈：春雨がしとしとと降っている。友達は何をしているのか。逢いに行きたいものだ。

夏の夜や蚤を数へて明かしけり

通釈：月が出ている。その夏の夜に蚤を数えたものだ。

秋風に独り立ちたる姿かな

通釈：秋風を受けつつ独り寂しく立っている。

湯貰ひに下駄音高き冬の月

通釈：冬にお風呂を貰いに行く時に下駄の音が響いていたなあ。

これは良寛さんが詠んだ四季の句です。良寛さんは当時の自分の気持ちや風景などを句にのせ俳句を詠みました。良寛さんは慈愛に満ちた人柄なので、趣の句が多いのだと思います。



国内唯一の紙風船製造元

出雲崎で伝統的に作られている、紙風船を紹介します。

紙風船を作る人の思い…

紙風船へのこだわり

- ・すべて日本の材料で作っている
 - ・ふのりを煮て作ったもので貼っている
- 日本製の紙を探すのに一苦労するそうです。
※ふのり科の紅藻類の総称。海岸近くの岩に付着して繁茂する。

作るときに気をつけていること

- ・紙風船をたたんだときに、デザインが綺麗に見えるように作っている
- ・すべての作業を綺麗に丁寧に行っている

紙風船を作っている時の思い

- ・いろんな人に紙風船を見て、知ってほしい
- ・紙風船を受け取った人に喜んでもらいたい

今後やりたいこと

- ・子供と接することができる、絵本と紙風船をコラボしたい



紙風船の作り方

紙風船の歴史

漁師町の出雲崎では冬場に仕事が減るため、漁業に変わる仕事として紙風船を作り始めました。初めは冬限定でしたが、注文が殺到し、冬場だけでは間に合わなくなり、1919年(大正8年)から本格的に紙風船作りを始めました。

昭和初期頃までは首都圏でも盛んに作られていましたが、時代の流れと共に作る人が少なくなりました。もともとは東京からの支店として出雲崎に6~7軒ありましたが、だんだん減っていき、今では磯野紙風船製造所1軒だけとなりました。磯野紙風船製造所は2019年に100周年を迎え、国内唯一の紙風船製造所として伝統を引き継いでいます。

1. 紙風船の材料はグラシン紙です。リンゴやスイカを8つに切ったときに出来る皮の形と同じような形で、色違いのグラシン紙を8枚用意します。
2. 少しずつずらして8枚重ね、糊しろの部分に糊をつけます。
3. 金属の型の曲面にそって、糊しろ部分を上にして紙をおき、もう1枚重ねあわせます。次に2枚目の紙の端を金属型の曲面にずらし、3枚目を貼ります。同じように8枚目まで貼ります。
4. 3~5分乾かしたあと、紙風船の下側を内側に押し付け、底の部分には丸型の底貼り紙、上の部分には口貼り紙を貼ってできあがりです。

国内唯一の紙風船製造元

紙風船のデザイン

紙風船の様々な種類と生まれ方

紙風船は約 50～60 種類のデザインがあります。くまもんやシャチホコなどの、その地域を紹介しているもの、家のインテリアとして使えるものなど、デザインは様々です。出雲崎では 1919 年(大正 8 年)から本格的に紙風船を作り始めていて、それから今まで、たくさんの種類の紙風船が生まれてきました。紙風船のデザインは作っている人が寝ているときに思い付いたものや、地方の人から頼まれて作るものなど様々です。

イチゴの形の紙風船

50～60 種類ある紙風船の中にイチゴの紙風船があります。その紙風船は丸い紙風船ではなく、膨らませたときに、イチゴの形をしていて、紙風船を作る職人さんでも作るのが難しいそうです。



定番以外の紙風船

紙風船と言われたら赤、白、緑、青、ピンク、黄の 6 色で構成されているか、カラフルな紙風船を想像するでしょう。しかし今は、金魚やフグなどの生き物、紙風船が繋がっているようなものなどがあります。

取材時は錦鯉を作っていました。



～住民の安全を守る消防士～

出雲崎町は山と海に囲まれています。その中で、住民の安全を守ってくださっている、出雲崎消防分遣所の消防士さんにインタビューをしました。

私たちができることはどんなこと

お出かけの前にストーブやこたつをしっかりと消したかの確認
避難の際には落ち着いて姿勢を低くして行動する



お	は	し	も
おさない	はしらない	しゃべらない	もどらない



地震や災害が起きてから行動するのではなく日頃から意識しておくことが大切です。

消防士の1日の流れと勤務体制

勤務体制は8時半～24時間勤務で4人1班です。

1日の始まりは車両点検です

車両点検では救急車と消防車のライトやポンプ設備を確認し、いつでも出動できるようにしています。

次に訓練、机上業務、水利整備、昼休憩、車両点検、無線点検、夜休憩、机上業務、仮眠、交代で夜間勤務、起床、掃除、車両点検、勤務交代という流れで続いています。

仕事内容

消防の仕事内容は火災の火を消したり、救助やけが人を病院に搬送したりすることです。

消防をしているときのやりがいは救助をした人に「ありがとう」と言われた時です。町の消防団の組織と活動の様子については地域ごとに消防団が「11チーム」にわかれています。普段はそれぞれの仕事をしていますが災害が起きると協力して行っています。

その他の消防署には、消防総務課と言って消防の組織を運営するために働く、縁の下の力持ちや、指令係と言って119番通報の受信や車両管理をしている方などがいます。

その他にも地震や台風、大雨などの大災害時には、他の市や県に行くことがあり、その時は緊急消防救助隊で出動します。



訓練の目的とは「普段から災害に備えての対応です」

まず、トレーニングについて

毎日、約一時間で約10km走ります。走る以外に、物を持ち上げロープ引きやスクワットのトレーニングなどを行っています。また、常に体を動かしていることが、必要最低限のトレーニングとなっています。

次に、訓練について

主に、救急車の中での救助の仕方、救急搬送者への呼びかけなど、他にも緊急時に備えて様々な訓練をしています。救助訓練は主に、倒れている人を運んでいます。日頃の訓練により、消防の方は大人一人を持ち上げられるほど力があります。また、地元の小中学校に出向いて災害に備えた避難の呼びかけなども行っています。避難訓練は各学校で年間2回以上行なっています。隊員の中には、救急救命士の「国家資格」をもっている消防士さんもいます。

出雲崎の

地域おこし協力隊

～地域おこし協力隊～

地域おこし協力隊は現在全国で約1700市町村あり、約5500人が活動しています。新潟県では、30市町村のうち半分程度の市町村で地域おこしの協力隊員が活動しています。地域おこしは市町村ごとに様々な方法があります。例えば、出雲崎のような動画や図書などの利用、長岡のワイナリー活動、胎内市では新しい祭りや野菜作りなどがあります。地域のおこし方を自分で考えなくてはいけないので難しいですが、とてもやりがいの感じられる仕事だと思います。

～出雲崎に地域おこし協力隊が必要になった理由～

昔の出雲崎は物流が良く、石油もとれていたため人口が多かったですが、資源の減少により働き手や人口が減っていきました。現在、出雲崎に住んでいる人は豊かな自然（出雲崎の良さ）をあまり外に発信していなかったため、町外から来た人の目線から出雲崎の良さを知ってもらい、発信してもらおうことがねらいで、県外出身の方に地域おこし協力隊をやってもらったそうです。

～ここがすごいよ出雲崎！～

出雲崎には絶景がたくさんあります。

まずは夕日。日本海に沈む夕日はまさに絶景！

次に星空。夜の空に浮かぶ満天の星空は、とても綺麗！

出雲崎は食も豊富。中でもサザエの炊き込みご飯は絶品。

「全国ご当地グランプリ」で見事グランプリに輝きました。そして一月には獅子舞いが笛と太鼓の音とともに練り歩きます。



～活動内容～

板東さん



ドローン撮影…風景など

動画投稿…YouTubeでの出雲崎の紹介

石坂さん



本紹介…おすすめの本を紹介

ボランティア活動…地域のお仕事をお手伝い

～大変だった所～

地域おこし協力隊のお二人は他市町村の方なので、私たちの中では当たり前のことでも、お二人からすると新鮮で最初の頃は、苦労したそうです。しかし、お話をうかがって、そういった異なる文化にも触れてみることも大切なことだと思いました。

出雲崎のドローン使い坂東拓哉さん！！

地域おこし協力隊メンバー 坂東拓哉さん



昨年2月に地域おこし協力隊員になり、主にドローンで出雲崎の美しい自然や景色を撮ってSNSや広報に載せて、出雲崎をPRしている。出身は大阪府で新潟大学を卒業後、長岡で2年間暮らしていた。そのような中で、新潟のことが大好きになり、趣味の写真で魅力を伝えたいと考えていた時、出雲崎町の地域おこし協力隊の募集を知り、メンバーになった。

🚦 引っ越し先は古民家

出雲崎にある古民家の周りには緑がいっぱい！しかし夏には、湿気がすごく、カビが生えやすくて大変！さらに冬には、廊下の隙間風がとてもし寒い！それに、お風呂に追い焚き機能がなく、不自由な面もあるのだとか！そんな暮らしをしながら出雲崎町のよさをYouTubeで投稿をする坂東さん。YouTubeでの活動をしていく中で、批判コメントが来て悩んでしまうこともあったが、それほど注目されているという逆転の発想をして、モチベーションを保っているそうです。



YouTube QRコード



坂東拓哉さんへの質問コーナー

Q、なぜ、出雲崎に来たのですか？

A、長岡に就職していましたが、新潟に住んでいる意味が分からなくなってしまいました。そんな時に、出雲崎の地域おこし協力隊を募集していることを知って応募したからです。

Q、YouTubeでの最終目標は何ですか？

A、視聴回数などの数字も大事ですが、移住を考えていたり、興味を持っていたりする人に、よさを伝えられたら一番良いと思います。

Q、普段、どのようにイベントを考えていますか？

A、日常にあるもので何が出来るかを考えています。本当はマイナスなことも逆転の発想でプラスに考えて企画を考えたりしています。

本を愛する 石坂優さん

協力隊の1人、石坂優さん。

—夢は図書館づくり—

令和2年7月、地域おこし協力隊の一員として出雲崎町にやって来ました。石坂さんは本を読むことが大好きで、小さい頃から常に本と触れていたそうです。そして今、大好きな本に関わる仕事をしています。例えば、町内にある多世代交流館「きらり」内に設置されている絵本スペースでは石坂さんが本のPOPを手掛けています。他にも、使わなくなった蔵に自らの手で夢である図書館をつくっています。祝日、休日にSNSなどで声をかけ、流行りのDIYで、一から完成を目指してつくっています。石坂さんは、たくさんのお客さんが来るよう頑張っています。図書館には古本やおすすめの本を置いて、色んな人に興味を示してもらいたいそうです。

ここでちょっとプチトーク！！

ちなみに石坂さんが今後やりたい事は、沢山あるそうです。具体的には…

- ・読書会をやりたい!!
- ・海岸沿いに住んでいるから、山沿いを走りたい!!
- ・図書館の家具を増やすためにDIYに、挑戦したい!!
- ・出雲崎に本が買える場所を作りたい!!

など石坂さんは、たくさん夢をもっています。



石坂優さんにインタビュー

Q. 石坂さんが本を好きになったきっかけはなんですか？

- ・幼いときからたくさん本と出会いながら大人になったことです。

Q. 本から学んだことを教えてください

- ・本は心を落ち着かせてくれるし、新しい世界に連れて行ってくれます。

Q. 目標の図書館を創るには、どのようなことをしていきますか？

- ・積極的に町外の人にも声をかけつつ、町民とも協力していきたいです。

